

謹賀新年

年頭のあいさつ

市では、「うるおいとやすらぎの生活未来都市」の実現に向けて都市基盤の整備、防災・減災対策など各分野の施策に積極的に取り組んでまいります
また、東京2020パラリンピック聖火リレーの通過市として聖火リレーの成功を目指すとともに
市民の皆様と手を携えながら新しいまちづくりを進めてまいります

白岡市長
小島 卓
こじま すぐる

新年あけましておめでとございます。
市民の皆様におかれましては、健やかに令和2年の新春をお迎えのことと心からお喜び申し上げます。

昨年中は、天皇陛下のご即位や改元、そして、一連の国事行為、消費税率の引き上げなど、暮らしを取り巻く環境が大きく変わる出来事がありました。そのような中で、市民の皆様におかれましては、市政運営にご理解とご協力を賜りましたことに厚くお礼を申し上げます。

令和となつて初めてのお正月を迎えました。本年は、いよいよ東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会が開催されます。4年に一度の世界的なスポーツの祭典が日本で開催されることを市民の皆様はとても楽しみになさつておられることと存じます。

1964年の東京オリンピックの際は、交通網や競技施設の整備などにより建設需要が高まり、「五輪景気」と言われる好景気となりました。今年のオリンピックに向けても、インフラ整備の拡充や消費活動の活性化、観光需要の増大などにより、経済効果が高まることが見込まれています。

しかしながら、通商問題を巡る緊張、中国経済の先行きやイギリスのEU離脱問題などといった海外経済の動向、消費増税対策の終了やオリンピック閉幕などの要因による景気の減速を懸念する声もございます。

市政に目を向けますと、地方における人口減少や少子高齢化がもたらす問題は各地域で異なっており、その解決に向けては、実情に応じた対応が必要でございます。

本市では、昨年、アクティブシニア活躍支援事業や大山菁莪地域活性化推進事業を実施いたしました。事業に参加していただいた元気なシニア世代の皆様や地域の皆様に積極的に交流・活動していただいたことにより、住民同士の絆や支え合いの気持ちが高まり、地域コミュニティのさらなる活性化が図られたものと思っております。

本年も、「うるおいとやすらぎの生活未来都市」の実現に向けて、各種施策を展開してまいります。

まちづくりの方向性や将来像とその実現の手段等を総合的に掲げた基本指針であり、市の最上位計画である「第6次白岡市総合振興計画」の策定に着手してまいります。市の現状を把握し、課題等を整理して、目指すべきまちの姿やそのための取組を具体的に示してまいります。

また、近年は、災害が大規模化・恒常化しております。本市では、幸い、災害による大きな被害は発生しておりませんが、昨年の台風や大雨が各地にもたらした被害は記憶に新しいところですので。安全、安心な暮らしのため、防災・減災対策に今以上に力を入れてまいります。

さらに、昨年から整備を進めている都市計画道路白岡宮代線及び白岡駅西口線につきましては、引き続き、早期の開通を目指して事業を進めてまいります。

そのほか、教育の充実や福祉施策、産業振興など、さまざまな分野の事業に取り組んでまいります。

8月には、パラリンピックの聖火リレーが白岡市にやっております。

東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会は、一人ひとりが互いを認め合う「多様性と調和」を基本コンセプトの一つとしており、共生社会の実現を目指しております。本市も、障がいの有無や年齢、性別に関わらず、多様な個人の力を活かし、誰もが活躍できるまちづくりに皆様とともに取り組んでまいります。

令和2年の年頭に当たり、気持ちを新たに、今年一年のまちづくりが未来の白岡市の礎を築くものであるとの確信のもと、これまで以上に市民の皆様の活力をまちづくりに生かし、発展を続けるまちを目指してまいりますので、市政運営により一層のご支援、ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

市民の皆様のご一年のご多幸とご健勝を心から祈念いたしまして、あいさつとさせていただきます。